

令和2年7月25日

それでは、呼びかけをさせていただきたいと思います。

東京都心部をはじめとする首都圏や、隣接する愛知県、大阪府など、全国的にも新型コロナウイルス感染症が急速に拡大をしています。

7月中旬以降、県内においても連続して県外由来の感染者が確認されていることをふまえ、県内での感染拡大を防ぐために、あらためて、東京都心部、愛知県、大阪府などの、感染が急速に拡大しているエリアとの往来や感染防止対策の徹底について、エリアと業種を限定した注意喚起を行います。

新型コロナウイルス感染者の発生について、本県では7月10日に76日ぶりとなる新規感染者の発表をさせていただきましたが、以降、本日までの2週間程の短い間に、この方を含め、19名の感染者が発生しています。

三重県では、『三重県指針 ver. 2』において、モニタリング指標を定め、感染拡大の予兆を察知した場合に対策を講じる判断基準としておりますが、直近5日間の状況は、新規感染事例4、新規感染者7人、入院患者18人となっており、モニタリング指標の新規感染事例数の水準3件を上回るとともに、新規感染者数、入院患者数も指標の水準に迫る状況となっています。

しかしながら、新規感染事例数は4事例とも、感染経路が概ね特定できており、市中感染と呼ぶような状況にはないことから、県民の皆様に対し、今すぐにすべての外出自粛や休業要請など、措置を強化する段階にはないと考えています。これですね。今申し上げましたとおり、直近5日間におきまして、初発の患者、新規感染事例が4、新規感染者が7、新規入院患者が18というような状況でありまして、先ほど申し上げましたとおり、この4というのが基準の数値を上回っておりますが、後で説明いたしますけれども、県外由来など一定感染経路を推定しておりますので、全ての外出自粛とか休業要請、そういう措置は今とはとりませんが、この新規感染者数、入院患者数もそれぞれこの数値に迫ってきているという状況であります。

また、県内の医療機関の受け入れ体制はひっ迫する状況にはありませんが、新規感染者数や入院患者数が増加傾向にあることから、7月23日付で県内の医療機関に受け入れ病床の確保について170床を超えるレベル、もともと176確保したわけですが、170床を超えるレベルに戻すことをお願いしたところです。宿泊療養施設についても、現在JTBと密に連携し、受け入れ体制の整備に向けて準備を進めています。一連の準備が整い次第、公表させていただきます。

いずれにしても、短期間で新規感染者が発生しており、引き続き警戒し、適宜必要な対策を講じていく必要があります。

ここから少し、移動などについてお話ししたいと思います。東京都心部などにおいては感染拡大が続いており、予断を許さない状況です。

東京都の新規感染者数は、7月に入ってから24日までに合計4,455人、7月23日には

過去最多となる 366 人の感染者が発生しています。

また、本県と生活文化圏を共有する愛知県においても、感染者が多数発生しています。一昨日の 23 日には過去最多の 97 人、昨日は 63 人の感染者が確認されており、繁華街の飲食店においてクラスターも確認されています。

さらに、通勤や通学など、本県との往来が多い大阪府においても、昨日、過去最多の 149 人が確認されるなど、連日 100 人を超える感染者が確認されています。このほか、隣接する滋賀県、京都府、奈良県、和歌山県でも 7 月 20 日以降の短期間で一日あたりの新規感染者数が過去最多となるなど、感染者が増加しています。

本県で直近 5 日間に確認された新規感染者 7 人の感染経路についても、すべて、愛知県や大阪府など、県外に由来すると推定されています。こちらです。これは直近 5 日間の新規感染者でありますけれども、59 例目は大阪府在住の学生の方、60 例目は今日発表させていただいた 65 例目、大阪を訪問された方のご家族、61 例目は名古屋を訪問された 64 例目の方の濃厚接触者、それから 62 例目は名古屋市に、愛知県内に勤務し複数回訪問、63 例目は滋賀県内の専門学校、ここで感染者と接触している、64 例目名古屋市訪問、65 例目大阪を訪問ということで、この直近 5 日間の全てが県外由来というふうに推定をしています。

以上をふまえて、東京都心部をはじめとする首都圏、愛知県、大阪府のそれぞれの繁華街など、感染者が急増しているエリアとの往来については、極力控えていただきますようお願いいたします。

特に、移動先においては、多数の人が同じ時期、同じ場所に集まることにより「密」となることを避けるため、3密の空間が非常に多く、感染防止対策が不十分な飲食店、クラブ、カラオケなどの利用は控えていただきますようお願いをいたします。これです。東京都心部をはじめとする首都圏の繁華街、愛知県の繁華街、大阪府の繁華街など、感染が急増しているエリア、東京都全部とか、愛知県全部とか、大阪府全部ではないですけども、この感染が急増しているエリア、そこについての往来は極力回避していただきたい、そういうふうに思います。それからさらにその移動した先で、そのエリアにおいてもですね、感染対策が不十分な飲食店や、3密となりやすいクラブやカラオケ、こういうところの利用は控えていただきたい、回避していただきたい、そのように考えています。それが 1 つ目です。

それから続いて、若い世代の皆さまに、ということです。先般も申し上げましたとおり、感染が拡大している地域では、20 代や 30 代の若い世代の方が多く傾向がみられます。本県においても、直近 5 日間に確認された新規感染者のうち、85.7%（7 月 10 日以降の感染者では 52.6%）が 10 代、20 代の方となっています。専門家の分析、これは報道ベースでもありましたが、緊急事態宣言時の自粛でストレスのたまった若い世代の方が宣言解除後に気が緩んだりした、という指摘もありますし、繁華街は 3密の空間が非常に多い上、出入りする若者の方々も警戒感が薄く、無症状で活発であるため、知らない間に感染が広がっている可能性がある、という指摘もあります。若い世代の皆様は、決して人ごとと思わずに特に慎重な行動や、感染防止対策の徹底をお願いします。これを見ていただきますと、直近 5 日間、先ほどの表ですけども、お一人を除いて全員が 10 代、20 代であり

ます。それから今先ほど申し上げましたとおり、直近5日間で10代、20代が85.7%、軽症や無症状のまま知らないうちに感染拡大をさせてしまわないように、人ごとと思わずにぜひ感染防止対策をとっていただきたい。

それからもう1つ、通勤、通学などで県外との往来が多い方やそのご家族は、(愛知県や大阪府など)感染が急速に拡大している地域との移動で、感染するリスクがあることから、特に感染防止対策にご留意をいただきますようお願いいたします。この下のところです。この直近に出ているものもそうですけれども、こういう大阪在住の方であるとか、まあ学生の方ですね、名古屋市を訪問したり大阪を訪問したり名古屋勤務、こういう通勤、通学で県外との往来が多い方、あるいはそのご家族は、ぜひさらにあらためて感染防止対策をとっていただき、それぞれにコミュニケーションをとっていただいでですね、「うつらない、うつさない」そういう対策をぜひ徹底していただきたいというふうに思っています。

この特に、直近の三重県における感染事例から、皆さんによくご留意いただきたいというふうに考えております。

それから県民、事業者の皆さまへということですが、事業者の皆様におかれましては、『三重県指針 ver. 2』や、業種ごとのガイドラインをふまえ、今こそ、これまで以上に徹底した感染防止対策をお願いします。

業種ごとの感染拡大防止ガイドラインは、県の新型コロナウイルス感染症特設サイトにもリンクを貼らせていただいておりますので、該当する業種の最新のものをご活用ください。

そして、そのサイト、県のサイトですね、には、「感染防止対策実施中」の掲示用チラシも掲載しておりますので、ぜひ、こちらもご活用いただき、感染防止対策の徹底と営業の両立を図っていただければと思います。

県民の皆様におかれましても、感染が拡大している今、あらためて「3密」となる場所を避ける、人との距離を十分にとるなど「新しい生活様式」を定着させ、「うつらない、うつさない」感染防止対策を徹底していただきますようお願いしたいと思います。

これは事業者の皆さまへということです。先ほど言いましたようにガイドラインをふまえまして、徹底した対策をとっていただきたいと思ひますし、この下にあるような、各店舗で掲示をしていただける「感染防止対策実施中」という貼り紙がありますので、ぜひこれを活用していただいて感染防止対策、もちろん感染防止対策をしていないのにこれを貼るといのはあれですけども、対策をしていただいて、こういうの見える化して、来ていただくお客さんにも安心をしていただく、またその店舗から感染者を生まない、そのようなことに事業者の皆さまにあらためてご協力をいただきたいと思ひます。

それから最後に申し上げましたとおり、県民の皆さまにおかれましては、あらためて感染防止対策の徹底のお願いをしたい、と思ひています。

また、毎回の繰り返しになりますが、感染した方やその家族、関係者が地域や職場、学校において不当な差別、偏見、いじめを受けるようなことは、絶対にあってはならないことです。戦うべき相手はウイルスであり、皆様の隣人ではありません。県民の皆さまにお

かれましては、個人や企業への偏見や差別につながる行為、人権侵害、誹謗中傷等は絶対に行わないよう、あらためてお願いいたします。私からは以上です。